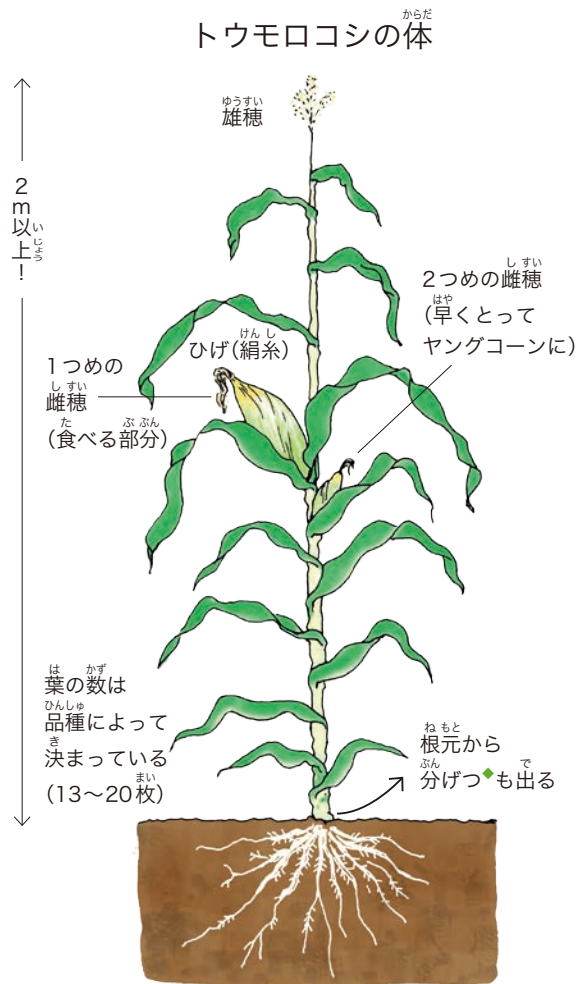


トウモロコシってどんな植物？



夏に食べる甘いトウモロコシは、「スイートコーン」という種類。実が未熟なうちにもぎとって食べるものだ。

(トウモロコシの品種について詳しくは30ページ)

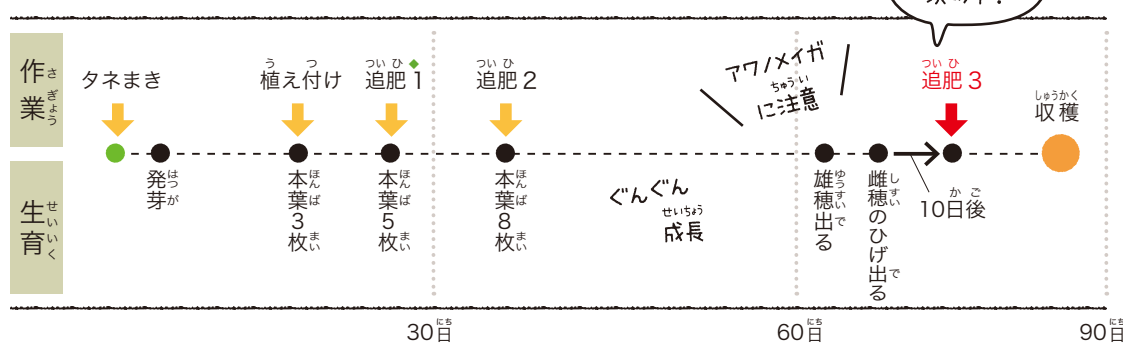
イネ科トウモロコシ属 中南米原産

トウモロコシは成長すると2種類の花(穂)がつく。まずは、茎のてっぺんで雄穂が開花。その1~2日後に下の雌穂(実になる部分)のひげ(絹糸)が2~3日かけて出る。雄穂の花粉が雌穂のひげにくっつくことで受粉し、実がふくらむ

立派に成長させるには、
たっぷりの太陽の光、肥料、
水が必要ですよ

篠原和子さん。
トウモロコシ栽培
30年のベテラン

トウモロコシの栽培の流れ



- ・タネまき時期: 東京など温暖地の場合、4月中旬~6月中旬。7月下旬にまで10月にとる秋どり栽培もできる
- ・タネまきから約3ヵ月(82~90日)で収穫できる(品種によりちがう)
- ・成長の日数は目安。暖かい日が多いと成長は早く、寒い日が多いと遅くなる

名人に教わる
栽培のコツ

つくりたい!

あま〜い
トウモロコシを

まとめ・編集部 イラスト・小川 剛
教えてくれる人 岐阜・恵那市 篠原和子さん

ぷりっぷりの甘いトウモロコシ。もぎたてが一番おいしいから、うちの菜園でつくれたらうれしいよね。

そこで今回は、岐阜県のトウモロコシ名人、篠原和子さん(70歳)に栽培のコツを教えてもらったよ。和子さんはトウモロコシをつくり続けて約30年。夫婦で毎年1万2000本もつくるトウモロコシは、「ここは本当に甘い!」「どれも先まで実がつまって立派だね」と大評判。すべてが庭先直売で予約完売してしまうほどの人気っぷりだ。

「トウモロコシの栽培って、かんたんじゃないのよ。私もはじめは大失敗ばかりだったんです。失敗しても当たり前だと思って、何度も挑戦してみてください」と和子さん。

研究熱心な和子さんが、失敗と実験を積み重ねてつかんだ栽培のコツ、さっそくおそわっちゃおう!